

2019 年度

自己点検・評価報告書



令和 2 年 3 月

学校法人 Y I C 学院

Y I C ビューティモード専門学校

本校は、平成18年に美容学科およびトータルビューティ学科の2学科で「山口ビューティモード専門学校」として周南市に開校しました。平成20年に現在の「Y I C ビジネスアート専門学校」へ改称し、平成26年に山口市へ移転しました。

また、平成26年4月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を得ております。

平成29年度生より2学科を1学科に統合し、「教育課程編成委員会」にて外部有識者のご意見を拝聴し、総合的な美容教育のためカリキュラムを改善しました。

平成30年度美容師国家試験では合格率95.3%を達成し、多方面に卒業生を送り出すことができました。

平成30年度の学校自己点検および自己評価につきましては、前年度と同様に「一般社団法人 全国専門学校教育研究会（全専研）」の様式を用いて実施し、自己点検・自己評価の結果を報告いたします。

できるだけ第三者の視点で自己評価を実施したつもりですが、過大評価の項目もあろうかと思えます。学校関係者評価委員の皆様からのご指摘をいただき改善に努めてまいります。つきましてはご多忙中であろうが事前に本報告書に目を通して頂き、「学校関係者委員会」にて、ご意見・ご質問を賜りたいと存じますので、何卒よろしく願いいたします。

貴重なご意見を真摯に受け止め、教職員一同、より質の高い教育の実現を目指して、諸課題の改善および教育課程の見直し等を今後も継続していく所存です。

今後とも本校の取組みに対し、皆様方のご支援ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年3月

学校法人Y I C 学院
Y I C ビューティモード専門学校
校長 中川 達也

| | |
|--|--|
| 項目の重要度ランク A：設置基準レベル（専修学校として必須） B：全国専門学校経営研究会加盟校目標 C：理想的な姿（努力目標） | 評価基準 ◎：出来ている ○：ほぼ出来ている ×：実施できていない |
|--|--|

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が、明文化（文章等にまとめ他者が確認できる状態）しているか。

上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| 1 | 【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。（学生便覧等） | A | ◎ | 学生便覧 P1 参照 入学前オリエンテーション、入学直後のオリエンテーションで説明 |
| 2 | 【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。（教職員手帳等） | B | ◎ | 学生便覧 P1 参照 経営計画書（社外秘） P12、13 参照 |
| 3 | 【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。（HP・パンフレット・募集要項等） | B | ◎ | 学生便覧 P1 参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/about/history/ 参照 |
| 4 | 各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。 | C | ○ | 学生便覧 P9～13 参照。 入学から卒業・基礎から応用に至る流れを明示するとお良 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) 建学の精神（教育理念）、教育目的・教育目標については、学生便覧 P1 に明文化されている。また、HP でも公表されている。校訓の「鍛え磨く」についても、学生便覧、HP に明示されている。ただ、学生については1年次に学生便覧の読み合わせ以降は、浸透を図る機会を設けておらず、校内明示などの工夫が要求される。
- (2) 教育方針・教育目標についても、すべて即答できる教職員は少数にとどまっており、朝礼での唱和、職員会議などでの確認などの意識づけが必要と思われる。
- (3) 校訓の「鍛え磨く」については、全教室に額が掲げられ、明示・浸透は十分であった。

2 教育の内容

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 1 | 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。 | B | ◎ | 学生便覧 P9～13 参照 |
| 2 | カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。 (カリキュラム作成委員会等) | B | ○ | 平成 30 年度校務分掌参照 複数の教員で作成 |
| 3 | カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。 | C | ◎ | 平成 30 年度校務分掌参照。 複数の教員で構成 |
| 4 | カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。 | C | ◎ | 教育課程編成委員会で提案された意見を取り入れている |
| 5 | シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。 | B | ◎ | 平成 30 年度シラバス参照。全科目に関してシラバスを作成している |
| 6 | シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。 | B | × | シラバスの製本化はしていない ホームページ上にて公開 |
| 7 | 上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。 | B | ◎ | 2019 年度事業計画 提出予定表参照 学内提出スケジュール (カリキュラム) 参照 |
| 8 | 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。 | C | ○ | 記載内容に差があるが作成している。 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) カリキュラム作成については、教務課長を中心に策定しているが、若年の教職員の意見が反映されにくくなっているため、自由な意見交流をする必要がある。また、外部サロンから非常勤講師を招く機会も多いので、意見を取り入れることも多いが、カリキュラム・シラバスの策定までの協力を仰げばより最先端に近い実習が可能となるので、検討していきたい。
- (2) シラバスについては各教科とも整備されて様式の統一を行い、非常勤講師に至るまで記録を協力依頼。現在はシラバス、コマシラバス共にインストラクショナル・デザインに基づいた様式で記載されている。
- (3) 各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか

| | | | | |
|----|---------------------------------|---|---|-----------------------|
| 9 | 学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。 | B | ◎ | 授業評価参照 前期・後期終了時に実施 |
| 10 | 結果に基づく教員面接を実施しているか。 | B | ◎ | 低評価の教員に実施 |

| | | | | |
|----|--|---|---|----------------------------------|
| 11 | 結果に基づく研修を実施しているか。 | C | ○ | グループ内外の各種研修から適切なものを選び、研修に参加させている |
| 12 | 結果に基づく授業観察を実施しているか。 | C | ○ | 授業観察を実施 |
| 13 | 結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。 | C | × | 実施されていない |
| 14 | その評価結果をもとに改善活動をしているか。 | C | ○ | 各自改善に努めているが、成果の確認・把握の体制が整っていない |
| 15 | 授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等) | C | ○ | 各校副校長による授業視察実施 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) 授業評価については、概ね高い満足度が出ているが、学生一人ひとりからの要望や意見を細かく汲み上げていく工夫が必要である。アンケート用紙の様式などの改善を検討していく必要がある。評価に基づく面接はあるが具体的な改善研修が実施されていない。

(2) 授業改善

常勤教員間では授業の相互観察、実習補佐などが日常化されているが、非常勤については、授業評価の結果に基づく改善提案などの手続きが明示化されておらず、個人間の親密度の濃淡によって左右されている。文書で要望を整理・伝達などの工夫が必要であるが、外部講師には依頼しづらい状態が継続している。また、授業観察の結果の教員、講師のフィードバックは不可欠であり、文書化に取り組んでいく。

各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

| | | | | |
|----|--------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 16 | 企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。 | B | ◎ | 1年生の2月～3月(2単位以上)正規授業として実施している |
| 17 | キャリア教育などを行っているか。 | C | ◎ | 職業理解、職種研究の授業実施している |
| 18 | ビジネス教育を行っているか。 | C | ◎ | 美容業界に特化した接遇教育を実施 |
| 19 | コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。 | C | ◎ | 実技実習等でグループワークを取り入れている |
| 20 | リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。 | C | ○ | 入学前に書物を指定し、感想文を提出させている |
| 21 | 他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。 | C | ○ | 県内2校の実績あり(メイク講座) |
| 22 | 企業・地域・行政との連携を図っているか。 | C | ◎ | 地域のイベントに積極的に参加している |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) 学校・学科の特性として従事する職種が限定されているため指導は容易で学生の意識も高いが、いったん当該職種への意欲が薄れると退学に結びつきやすい。そのような学生のためにも、その職種の魅力をかきたてる取組みを工夫する必要がある。また、時には異業種を含めたキャリア教育の視点があつてよいのではないか。

各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取組みがされているか

| | | | | |
|----|---|---|---|----------------------------------|
| 23 | 教職員の研修計画が作成されているか。 | C | ◎ | 年間の研修計画が作成されている |
| 24 | 専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。 | C | ◎ | グループ校全体で研修を実施している |
| 25 | 専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。 | B | ◎ | 外部研修へ派遣している |
| 26 | 専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。 | C | ○ | グループの規定に基づき、一定の研修等には時間的・経済的支援がある |
| 27 | 非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等) | B | ○ | 定期的ではないが、状況確認のため個別面談は実施している。 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) グループ校のスケールメリットを生かして、様々な研修が用意されており、教職員の積極的参加を促している。しかし、必ずしも研修への参加は積極的とは言えず、管理者との面談を通して自己啓発をうながしている。また、非常勤との情報共有については口頭レベルに留まっており、教務日誌の様式はあるが、気付きの欄が記入されることが少なく活用されていない。

3 教育の実施体制

各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか

| | | | | |
|---|-----------------------------|---|---|-------------------------------|
| 1 | 組織機能図があるか。 | A | ◎ | 組織図、校務分掌を作成している |
| 2 | 学校の年間スケジュールはあるか。 | A | ◎ | 年間行事予定表を作成している |
| 3 | 図書室・図書コーナー等があるか。 | C | ○ | 学内に設置している |
| 4 | 学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。 | C | ◎ | 蔵書数は少なく、充実を図る必要がある |
| 5 | 就職支援を行う指定された場所があるか。 | B | ◎ | キャリアサポート室を設置している |
| 6 | 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。 | B | ◎ | 学生便覧 P14 参照 敷地内全面禁煙を実施している |

| | | | | |
|----|--|---|---|--|
| 7 | 環境エコ活動（節電・ゴミ分別・節水）に関する規定が文書化・掲示されているか。 | B | ○ | 節電・節水・ごみ分別の掲示はあるが、規定として文書化されていない |
| 8 | 学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。 | B | ◎ | 環境整備・環境整備アクションシート参照 |
| 9 | 学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。 | B | ◎ | 清掃チェック表・環境整備アクションシート参照 |
| 10 | 学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。 | B | ◎ | インターンシップに関する覚書に記載参照 |
| 11 | 学校生活（実習・行事・学外活動等）において保険に加入しているか。 | A | ◎ | 全員学生災害保険、インターンシップ保険に加入している |
| 12 | 防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか。 | A | ◎ | 消防用設備点検報告書・警備業務請負契約書・ALSOK 警備報告書参照 |
| 13 | 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。 | A | ◎ | 電気設備点検記録報告書・電気設備定期点検報告書・建築物環境衛生管理報告書参照 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) 組織・設備などは適性に設置できている。学生・教職員の安全確保のため、各種設備の定期点検はもちろん、補修必要箇所に対してオンデマンドに対応している。また、敷地内完全禁煙を実施、掲示物等によって安全衛生に努めている。

4 教育目標の達成度と教育効果

各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか

| | | | | |
|---|----------------------------------|---|---|---|
| 1 | 学生の就職に関する目標を設定したか。 | A | ◎ | 年度当初に目標として設定している |
| 2 | 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。 | B | ◎ | 職員会議資料により共有されている |
| 3 | 学生の就職活動に関する記録がなされているか。 | B | ◎ | 企業訪問・入社試験報告書参照 |
| 4 | 学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。 | C | ◎ | 内定先一覧参照 |
| 5 | 対外部に向けた就職実績を公表しているか。（パンフレット・HP等） | B | ◎ | パンフレットに掲載 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/recruit/record/ 参照 |
| 6 | 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。 | A | ◎ | 年度当初に目標として設定している |
| 7 | 資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。 | B | ◎ | 職員会議資料により共有されている |

| | | | | |
|----|---------------------------------|---|---|---|
| 8 | 資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。 | C | ◎ | 職員会議資料により共有されているが検証は不十分である |
| 9 | 資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか。 | B | ◎ | 山口県美容技術コンクール等参照 HP: http://www.yic.ac.jp/bm/news/ 参照 |
| 10 | 退学率の目標を設定しているか。 | A | ◎ | 年度当初に目標として設定している |
| 11 | 退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。 | B | ◎ | 重点項目シートに記載 |
| 12 | 退学結果に関して検証・報告がされたか。 | C | ◎ | 休・退学経過報告書にて検証・報告 |
| 13 | 退学者数を公表しているか。 | C | ◎ | HP：情報公開 http://www.yic.ac.jp/bm/disclosure/ |
| 14 | 卒業生（同窓生）の進路・就職先等の記録がなされているか。 | C | ◎ | 記録している |
| 15 | 卒業生（同窓生）の進路・就職先等を公表しているか。 | C | ◎ | 学校案内（パンフレット、校内掲示）にて公表している |
| 16 | 卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を把握しているか。 | C | ○ | 卒業生全員の就業状況を完全には把握できていない |
| 17 | 卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を公表しているか。 | C | × | 公表していない |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) 就職・卒業生

学科名＝職種なので目標はぶれることは無い。内定情報は共有され、リアルタイムでHPにて告知、高校に報告書を届けている。

ただし、就業先の定着率が悪く、ミスマッチが十分に防止できているとは言い難い。特に、美容師については慢性的な売り手市場であるため、学生・教職員とも定着率に対する意識は高くなく改善が必要である。

(2) 資格・検定・コンペ

学習、就職への大きなモチベーションとなっており、成果もそれなりに出ている。

H30年度は全国レベルで活躍できる学生を多数輩出。(ABC コンテスト：ワインディング部門ファイナリスト2名、学生技術大会ネイル全国大会出場、SPC中国大会準優勝など)

(3) 退学

美容学科＝美容師だが、エステティシャン、ネイリスト、美容部員などやや幅広い就業可能先が目的意識のやや希薄な学生の入学と繋がっている。このことを想定してのオリエンテーションが重要であるとともに、日常の意欲の惹起への取り組みが必要である。また、生活習慣の乱れから退学に至るケースも多く、特に通学習慣の無い通信制高校出身者のリタイアがここ数年顕著である。よって、可能な限り出身高校での担任からの情報収集に努めるとともに、日常の面談などきめ細かい指導が必要である。

5 学生支援

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(入学前)

| | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|-----------------------------------|
| 1 | 学校案内等には育成人材像が明示されているか。 | A | ◎ | 学校案内（パンフレット）P2の教育理念・教育目標の中で明示している |
| 2 | 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。 | A | ◎ | 学校案内（パンフレット）P17～P26にて明示している |
| 3 | 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。 | A | ◎ | 募集要項 P5 に明示されている |
| 4 | 学校案内等には選抜方法が明示されているか。 | A | ◎ | 募集要項 P3 に明示されている |
| 5 | 入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。 | A | ◎ | 入試事務局を設置し対応できる体制ができている |
| 6 | 学校説明会等による情報提供（上記1から4）を行っているか。 | A | ◎ | 学校説明会・オープンキャンパスにて情報提供している |
| 7 | 入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。 | C | ○ | 入学式までに、推薦図書を提示して感想文を提出させている |
| 8 | 入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。 | B | ◎ | 入学前および入学時オリエンテーションを実施している |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) この項目に関しては、各メディア形態での内容の充実がなされている。しかしながら、学校の知名度が十分でなく未だ地域に十分に浸透しているとは言い難い。昨年より学校案内など本校情報を学生がより容易に知ることができる手段・工夫（SNS・インスタグラムなど）強化により反応が出始めている。
- (2) 入学予定者に対しての教育については、体系立てた取り組みがなされていないので、体系的に取り組んでいく必要がある。また、姉妹校が導入しているスマートフォンを使用したリメディアル教育も検討していきたい。

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(在学時)

| | | | | |
|----|--|---|---|--|
| 9 | 担任による面談が定期的に行われているか。 | B | ◎ | 段階に応じて定期的実施している（概ね3か月ごと） |
| 10 | キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいるか。 | C | ◎ | キャリアサポーター4名、ジョブカードキャリアコンサルタント1名が在籍している |

| | | | | |
|----|---------------------------------------|---|---|---------------------------------|
| 11 | 担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者があるか。 | C | ◎ | 月1回の学生相談日を設け臨床心理士やカウンセラーが担当している |
| 12 | 学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。 | C | ◎ | 総合支援部を窓口として学生便覧にも連絡先を掲載し周知されている |
| 13 | 学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。 | C | ◎ | 上記のとおり、体制が整っている |
| 14 | 学生の面談・相談記録があるか。 | B | ◎ | 所定の記録用紙に記載しているが、様式の見直しが必要である |
| 15 | 定期的に健康診断を行っているか。 | A | ◎ | 毎年4月に実施している |
| 16 | 奨学金制度等の経済的支援があるか。 | A | ◎ | 日本学生支援機構奨学金のほか、グループの学費サポート制度がある |
| 17 | 保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。 | B | ◎ | 保護者面談は文書を発送した上で、希望があれば実施している。 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) この区分の項目についてある程度は整備されている。減免型の奨学制度は非常に充実している。ただし、学生の面談・相談記録の記載内容は詳細度において個人差が大きく記述内容の整理が必要である。

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか
(卒業後)

| | | | | |
|----|-----------------------------|---|---|------------------------------|
| 18 | 卒業生の会（同窓会等）はあるか。 | C | ◎ | 同窓会がある |
| 19 | 卒業生への職業紹介をしているか。 | B | ◎ | 卒業後10年間就職サポート制度を設けている |
| 20 | 卒業生への講習・研修を行っているか。 | C | ○ | 卒業生が参加できる講座がある 制度化はしていない。 |
| 21 | 卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。 | C | ○ | 定期的訪問は行っていない |
| 22 | 学校情報を卒業生に知らせているか。（HP・学校便り等） | C | ◎ | HP、同窓会を通じて卒業生に知らせている |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) 同窓会はあるが、開校（平成18年4月）以来、同窓会は1度しか開催されていなかったが、今年度実施した。今後は定期的に実施。（令和元年9月14日新山口ターミナルホテル開催決定）

上記以外を通じての学生支援

| | | | | |
|----|--------------------------------|---|---|------------------------------------|
| 23 | 保護者の会（後援会等）はあるか。 | C | × | 存在していない |
| 24 | 企業の会（就職後援会等）はあるか。 | C | × | 存在していない |
| 25 | 学校情報を保護者に知らせているか。（HP・学校便り等） | C | ○ | 保護者宛につき不定期ではあるが、学校便りを送付している |
| 26 | 学校情報を高等学校等に知らせているか。（学校便り・DVD等） | C | ◎ | HPを通じて外部に知らせている 高校に定期的に情報提供している |
| 27 | 学校情報を企業等に知らせているか。（学校便り・DVD等） | C | ○ | HP、SNSを通じて外部に知らせている |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) この区分において学生支援が充分であるとはいえない。HPの在学生の保護者に対するページ（学科の検定の日時、学費の納入期限告知など）があると良い。

6 社会的活動

意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 1 | 目標・計画に基づく社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施しているか。 | C | ○ | 社会的活動は行っているが目標・計画に基づくものではない |
| 2 | 地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟をしているか。 | B | ◎ | 全専研、全専各連に加盟している |
| 3 | 上記において定期的な会合に参加しているか。 | B | ◎ | 総会・例会等に参加している |
| 4 | 教育資源（施設・設備の開放・教職員の出張講座等）を地域社会に提供しているか。 | B | ◎ | 高校連携講座は1校のみ定期的実施している。また地域サロン様の依頼により実習室を貸し出している。 |
| 5 | 社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を評価・単位認定しているか。 | C | × | 実施していない |
| 6 | 地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。 | C | × | 実施していない |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) 美容学科単体になり、実質カリキュラム内に単位認定できる科目として設置していないが、次年度に「准福祉美容士認定校」として申請し、外部実習内容を今後の単位に取り入れる計画あり。

7 管理運営

学校の管理・運営体制が確立していること

| | | | | |
|----|-----------------------------------|---|---|--|
| 1 | 理事会が定期的開催されているか。 | A | ◎ | 年2回定期開催されている |
| 2 | 評議員会が定期的開催されているか。 | A | ◎ | 年2回定期開催されている |
| 3 | 理事会・評議員会の議事録は公開されているか。 | A | ○ | 求められれば提示するが、外部への積極的公開はしていない |
| 4 | 運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか。 | B | ◎ | 年間行事予定表・職員会議議事録参照 |
| 5 | 組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。 | A | ◎ | 平成30年度校務分掌・職務分掌規程参照 |
| 6 | 決裁規程が文書化されているか。 | B | ◎ | 経営計画書（社外秘）P53・起案書参照 |
| 7 | 人事規程が文書化されているか。 | B | ◎ | 就業規則 P6-10 参照 |
| 8 | 人事考課制度は文書化されているか。 | B | ◎ | 経営計画書（社外秘）P50-51・人事考課制度参照 |
| 9 | 昇進・昇格制度は文書化されているか。 | B | ◎ | 昇格運用規定 |
| 10 | 賃金制度は文書化されているか。 | A | ◎ | 給与規定・給与規程運用規則細則参照 |
| 11 | 採用制度は文書化されているか。 | B | ◎ | 就業規則 P6-7 参照 |
| 12 | 防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。 | A | ◎ | 消防計画・気象警報による休講等の取扱ガイドライン参照 |
| 13 | 防災・防犯対策に対して組織化されているか。 | A | ◎ | 自衛消防隊各班担当内容参照 |
| 14 | 定期的に防災訓練を実施しているか。 | A | ◎ | 防火避難訓練実施要項参照 |
| 15 | 個人情報保護規程が文書化されているか。 | A | ◎ | 個人情報保護法に係る組織体制・従業員の教育・監督体制・経営計画書（社外秘）P47参照 |
| 16 | ハラスメントに関する規定が文書化されているか。 | B | ◎ | 就業規則 P10-11 参照 |
| 17 | 公印管理簿があるか。 | B | ◎ | 公印管理簿参照 |
| 18 | 出退勤管理簿があるか。 | A | ◎ | 出勤簿・勤務予定表参照 |
| 19 | 受信・発信簿があるか。 | A | ◎ | 文書発送簿・文書受付簿参照 |
| 20 | SD（スタッフディベロップメント）に関する計画・実施されているか。 | C | × | 計画実施されていない |
| 21 | 教職員の健康診断がされているか。 | A | ◎ | 健康診断のご案内参照 |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) グループとしてほぼ運営体制は整っている。アメーバ経営を導入し、全教職員が自校やグループ全体の収支を把握できる状況にある。しかし、未だに全教職員に十分浸透していない。

8 財務

財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか

| | | | | |
|----|-----------------------------------|---|---|---------------------------------|
| 1 | 年度予算・中期計画が策定されているか。 | A | ◎ | 計画している |
| 2 | 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的を確認しているか。 | B | ◎ | 毎月1回経営会議にて執行状況が確認されている |
| 3 | 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。 | B | ◎ | 税理士による監査を実施 |
| 4 | 会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。 | B | ◎ | 報告されている |
| 5 | 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。 | A | ◎ | できている |
| 6 | 固定資産管理規程が文書化されているか。 | B | ◎ | 文書化されている。 |
| 7 | 図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。 | C | ○ | 学生便覧 P19～20 参照 規程ではない |
| 8 | 物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか。 | B | ◎ | 一定量消費後発注ルール有り |
| 9 | 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。 | A | ◎ | 破損・老朽化に応じて保守しているが、定期的な管理は不十分である |
| 10 | 物品購入等における複数業者からの確認がされているか。 | B | ○ | 一定額を超える物品購入においては相見積を基本としている |

【評価の根拠・改善内容および課題】

(1) 毎年、事業計画が策定され理事長の承認を得て運営されている。収支決算などの情報公開ファイルが整備され、開示請求があれば閲覧可能である。

ただし、各規程の整備は十分でなく問題である。物品の管理台帳が無く整備が急がれる。

9 改革・改善

各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか

| | | | | |
|---|--|---|---|------------------------------------|
| 1 | 自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。 | B | ○ | 文書化されているが、詳細なルールになっていない |
| 2 | 自己点検・評価の組織があるか。 | B | ○ | 自己点検・評価委員会を設置している |
| 3 | 評価・改善を行うための組織があるか。 | C | ○ | 自己点検・評価委員会が担っている |
| 4 | 自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。 | A | ○ | 教職員会議を通じて伝えている |
| 5 | 自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。 | B | ○ | 自己点検・評価結果は供覧できるが、積極的に共有する機会は設けていない |
| 6 | 自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。 | B | ○ | 計画に基づいた結果検証はできていない |
| 7 | 自己点検・評価報告書があるか。 | B | ◎ | 文書化されている |
| 8 | 自己点検・評価報告書が公表されているか。 | C | ◎ | HPにて公表している |

【評価の根拠・改善内容および課題】

- (1) 自己点検・評価の基本ルールはあるが、詳細なルールになっていない。組織・体制については、整備途上である。